

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は

「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、決議します。

2015年8月1日

2015年度全医労近畿地方協議会定期大会



いのちまもる医療労働者として「戦争法案」に反対する決議（案）

安倍政権は、7月16日の衆議院本会議で「安全保障関連法案」を自民・公明両党によって強行採決しました。大幅に会期を延長してまで成立させようとしているこの法案には「平和」という言葉が散りばめられています。しかし、その中身はあらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものであり、まさに日本を「戦争する国」に変える「戦争法案」です。この法案が成立すれば、政府はさらに来年の参議院議員選挙後に、憲法の明文改憲をも企てています。憲法審査会で立憲主義をテーマに招致された参考人の憲法学者3氏も、「集団的自衛権行使を可能にする戦争法案について『憲法に違反する』』との認識を表明しました。これまで憲法9条で歯止めがかけられていましたが、この法案が成立すれば、医療機関や医療労働者も、殺し殺される戦争への協力が迫られることとなります。

私たちは、戦争に動員された先輩たちの苦い経験から、「ふたたび戦場の血で白衣を汚さない」決意のもと、平和な社会をつくる運動にとりくんできました。軍備を増強し、戦争にむかう時、人権が制約され、社会保障が削られます。平和は私たちの要求を実現するための土台であり、平和であってこそよい医療・介護が実現できます。

いま、「戦争法案」に反対する国民的な世論と運動が急速に高まっています。3万人が横浜に集まった5月3日の「憲法集会」をはじめ、国会周辺で行われた6月24日の「止めよう！憲法立法総がかり国会包囲行動」にも3万人が参加し、連日集会やデモなどが取り組まれています。SEALDs（シールズ）をはじめ、10代～20代の学生や若者が戦争や秘密保護法に反対して「戦争法案に反対する国会前抗議行動」「戦争立法に反対する渋谷デモ」を連日行っています。このような活動は中央にとどまらず全国に広がっており、九州各地でも若者を含め広範な人々が立ち上がり声を上げています。また、地方議会においても戦争法案に「反対」「慎重審議を求める」意見書の採択が、7月9日現在で331議会にも上っています。

日本と世界の平和にとって、いま必要なのは、平和憲法を世界中にひろげることです。私たちは、この「戦争法案」に反対し、国民のいのちを守り、生きることを支える医療労働者として、戦争する国づくりを阻止し、社会保障を拡充して安全・安心の医療・介護の実現をめざす運動の先頭に立って奮闘することを決意します。

2015年8月22日

全医労九地協第64回定期大会

憲法 9 条を踏みにじる「戦争法案」に反対する決議

安倍政権は、米軍と地球規模での軍事行動を展開するための「安全保障関連法案」を、7月16日の衆議院本会議で自民・公明両党によって強行採決しました。この法案には「平和」という言葉が散りばめられていますが、実際は日本を「戦争する国」に変える「戦争法案」です。この法案が成立すれば、政府はさらに来年の参議院議員選挙後に、明文改憲をも企てています。憲法審査会で立憲主義をテーマに招致された参考人の憲法学者3氏も、「集団的自衛権行使を可能にする戦争法案について『憲法に違反する』」との認識を表明しました。これまで憲法9条で歯止めがかけられていましたが、この法案が成立すれば、医療機関や医療労働者も、殺し殺される戦争への協力を迫られることになります。第二次世界大戦では、「国家総動員法」により、戦争に協力しなかった国民には懲役などの罰則が科せられました。この「戦争法案」が成立すれば、大戦時と同じことがおきます。

私たちは、戦争に動員された先輩たちの苦い経験から、「ふたたび戦場の血で白衣を汚さない」決意のもと、平和な社会をつくる運動をしてきました。平和は私たちの要求を実現するための土台であり、平和であってこそよい医療・介護が実現できます。軍備を増強し、戦争にむかう時、人権が制約され、社会保障が削られます。

いま、「戦争法案」に反対する国民的な世論と運動が急速に高まっています。3万人が横浜に集まった5月3日の「憲法集会」をはじめ、国会周辺で行われた6月24日の「止めよう！憲法立法総がかり国会包囲行動」にも3万人が参加し、連日集会やデモなどが取り組まれています。SEALDs（シールズ）をはじめ、10代～20代の学生や若者が戦争や秘密保護法に反対して「戦争法案に反対する国会前抗議行動」「戦争立法に反対する渋谷デモ」を連日行っています。このような活動は中央にとどまらず、全国各地に広がっています。地方議会においても戦争法案に「反対」または「慎重審議を求める」意見書の採択が、7月14日現在で393議会にも上っています。

日本と世界の平和にとって、いま必要なのは、平和憲法¹の精神を世界中にひろげることです。全医労は、この「戦争法案」に反対し、いのちを守り、生きることを支える医療労働者として、戦争する国づくりを阻止し、社会保障を拡充して安全・安心の医療・介護の実現をめざす運動の先頭に立って奮闘することを決意します。

2015年8月22日

全医労東北地方協議会第67回定期大会

72/1

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年 8月 14日

組織名 【 全医常 書記局支部 】

施設名 【 東京都豊島区南大塚1丁目48-3 】

職場・所属 【 全日本国立医療労働組合 57名 】

【賛同者の名前やメッセージなど】



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年 2月 12日

組織名 【 7170-0005 東京都豊島区南大塚1丁目48-3 】
全医労本部内

施設名 【 全医労書記会 】

職場・所属 【 】 38名

【賛同者の名前やメッセージなど】



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

年 月 日

組織名 【 全医労退職者会 】

施設名 【 〒170-0005 東京都豊島区南大塚1丁目48-3 全医労本・部内 】

職場・所属 【 】 名

【賛同者の名前やメッセージなど】

10月3日の総会で決議をあげます。

事務局



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

平成27年 8月 19日

組織名【全医務岡山病院支部】

施設名【】

職場・所属【執行委員一団】 名

【賛同者の名前やメッセージなど】



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、速ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

752-7510 27年 8月 23日
 下関市長府外浦町1-1
 組織名 【全日本国立医療労働組合下関支部】
 施設名 【 釜谷 (国) 府カバネ 】
 職場・所属 【 池 86 】 名

【賛同者の名前やメッセージなど】
 国民のいのちと健康を守る医療
 者がしたい。戦争法案に反対



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は

「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年8月20日

組織名【全医労嬉野支部】

施設名【嬉野医療センター】

職場・所属【執行委員会】12名

【賛同者の名前やメッセージなど】

第8回執行委員会
戦争予備国には二度として参戦しない
ことを決議します



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年8月12日

組織名【全日本国立医療労働組合武蔵支部】

施設名【国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター】

職場・所属【退職者会】 100名

【賛同者の名前やメッセージなど】

安保条約のもとに日本は戦争に参戦することはおかしい！
人間同士で血を流しあうのはやめて！
一番の被害者は一般市民です。平和憲法をまもって
過去の過ちを繰り返さない為同法案はすぐに撤回してください。
以上、職場から決議します。



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年8月8日
組織名【全日本白衣労働組合
全医労武蔵支部】

施設名【国立研究開発法人・国立精神・神経医療研究センター】

職場・所属【 】(20名)

【賛同者の名前やメッセージなど】

奮い合おうぜいぜい、合い合おうぜいぜい。

戦争反対と書いて「国益を守り」と書くけど、

本当はこうじゃない。

